



ドローンで在庫管理

ブルーインベーシ
ョン HTGとシステム

医薬品向け

ブルーインベーシ
ン（東京都文京区、熊
田貴之社長、03・6
801・8781）は
HTG（大阪市中央
区）と共同で、飛行ロ
ボット（ドローン）や
無人搬送車（AGV）
を活用した医薬品倉庫
向け在庫管理システム
の開発に乗り出す。2
021年度の製品化を
計画し、2022年度
医薬品向け倉庫の在庫
管理をドローンで行う
（イメージ）

に医薬品メーカーの倉
庫向けなど500件で
の導入を目指す。
同システムでは、医
薬品の品番や種類を、
ドローンからの撮影画
像やICタグで確認。
日々変化する倉庫内の
在庫状態のデータを自
動的に管理、記録、分
析する。ブルーインベ
ーションは複数ドロー
ンやAGVを同時制御
するプラットフォーム
を開発済みで、この技
術を生かす。
両社では今秋中にプ

ロトタイプシステム
を開発。それをHTG
傘下の光成薬品（大阪
市中央区）の倉庫に導
入し、実証実験によつ
て効果を確認した上で
製品化する。まずは国
内の医薬品・医療機器
メーカーや卸会社など
に販売し、将来は海外
展開も狙う。
医薬品は多品種少量
であることに加え、品
質劣化を防ぐため、き
め細かい温度管理が欠
かせない。さらに新型
コロナウイルス感染拡
大で消毒関係の医薬品
やマスクが大量に売れ
るなど、在庫管理の重
要性が増している。ド
ローンやAGVで適切
に管理できれば、倉庫
内で働く作業者の感染

防止にもなる。
把握し、迅速な対応が
可能となる。

医薬品業界では中小
規模の倉庫で自動化が
進んでおらず、人手の
在庫管理に頼っている
ところが多い。これが
ドローン活用により自
動化できると、在庫デ
ータをリアルタイムで